

安全な木材製品等流通影響調査・検証事業（継続）

【令和9年度予算概算要求額 80百万円（令和8年度当初予算額 83百万円）】

<対策のポイント>

消費者に安全な木材製品等を供給するため、**原木・木材製品や作業環境などに係る放射性物質の調査・分析、原木・木材製品の検査体制の整備等**を支援します。

<事業目標>

木材の放射性物質の動向等を継続的に把握し、復興に向けた森林・林業施策を的確に推進

<事業の内容>

1. 木材産業に係る放射性物質継続調査

製材工場等での原木の受入れから木材製品の出荷までの工程を対象とした、**原木・木材製品、作業環境などの放射性物質の調査・分析**を継続的に支援します。

2. 原木・木材製品の検査体制の整備等

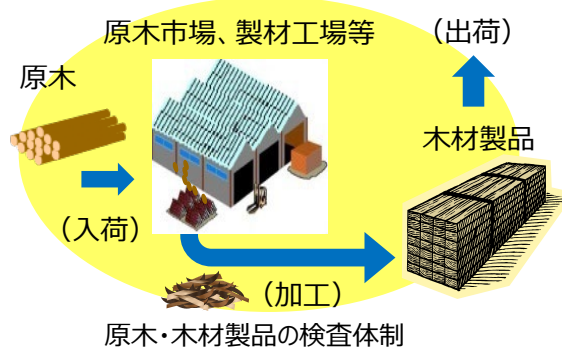
多様な原木・木材製品の安全と安心を確保するため、**原木・木材製品の検査体制の整備等**を支援します。

- ① **原木・木材製品の流通調査・分析**を支援します。
- ② 原木・木材製品の安全を確保するため、**放射性物質測定装置の設置等**による効果的な検査体制の整備を支援します。
- ③ **風評被害の防止に向けた活動**を支援します。

<事業イメージ>

安全な木材製品等の供給

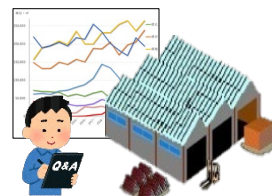
原木・木材製品等の放射性物質調査や検査体制の整備等を支援。



放射性物質測定装置の設置



放射性物質継続調査、流通調査・分析



風評被害の防止に向けた活動

<事業の流れ>

